

巻頭言 アニメ「スポンジボブ」が気になった

福島県立図書館 副館長 大槻 立志

いつも県立図書館をご利用いただき誠にありがとうございます。

当館全体の蔵書は約 1,290,000 冊あり、公開図書室には、おおよそ 170,000 冊の書籍等が配架されています。福島県関連の本はもちろんのこと、宇宙に関する本からガーデニング、歴史、経済、教育、風習・伝説等に関する本など、また専門書から小説まで様々な書籍等があります。中には『ハエ全書』（ハエ類を研究した本）とか『トコトンやさしいカビの本』などの変わった本もあります。当然、映画になったメジャーな本や有名な本も見つけることができます。

私が最近気になったのは、我が家の子供が好きだったアニメ「スポンジボブ」に、時折出てくるキャラクター「フィッシャーマン」と同じ名前の『フィッシャーマン（漁り人の伝説）』という小説です。実は「スポンジボブ」には、もうひとつ、吸血鬼らしい「ノスフェラトゥ」という名前で、稀に登場するキャラクターがいます。小説が目に入ったときに同時に思い出して、当館 HP の蔵書検索で見つけた『吸血鬼の辞典』で調べてみると、「ノスフェラトゥ」は、1922 年のドイツの無声映画「ノスフェラトゥ 恐怖の交響楽」に出てくる吸血鬼で、アニメはその実写画像を登場させているようでしたので、この小説も何か関係があるのかと読み始めました。

小説は、2016 年に出版された米国のホラー小説で、その年の最も優れたホラー小説やダークファンタジー作品に贈られる米国ホラー作家協会主催のブラム・ストーカー賞を受賞しています。小説に登場する「漁り人」は、黒いコートと、黒い帽子を被り、地面の下の暗い海で「あるもの」を釣ろうとしています。故人への思いと漁り人の執念とが長い時を経て繰り広げられる物語で、静かにストーリーは進みます。

結局、アニメ「スポンジボブ」に登場する「フィッシャーマン」ではなさそうでしたが、不思議と引き込まれる物語で印象深い小説でした。現在は、次にどんな本が私の目を引くのが楽しみになっています。

昨今、図書館もデジタルアーカイブをはじめ、デジタル化が進みつつあります。利便性が高まり、貴重な図書資料の保存にも優れていると思います。

いまや子供もスマートフォンを持っている時代、手軽に活用出来て、いつでもどこでも自分の見たいコンテンツを探して見ることができます。

ですが、たまには画面でのネットサーフィンではなく、図書館サーフィンをしてみませんか。ゆったりとした気持ちで、自分の足でゆっくりと館内を歩き、気ままに本を手にとってページをめくるのもいいものです。

図書館は本を読んだり借りるだけではなく、企画展示や必要な本を調べるお手伝い、他の図書館からの本の取り寄せなど様々なサービスも行っています。

また、県内には、ボードゲームの貸し出しを行っている図書館もあるなど、図書館毎に様々な取り組みも行われています。ぜひ、身近にある図書館に足をお運びいただき、自分時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

*本稿で紹介された本(すべて当館で所蔵しています)

『図説ハエ全書』マルタン・モネステイエ/著、原書房、2000.6

『トコトンやさしいカビの本 B&Tブックス 今日からモノ知りシリーズ』佐々木正実/監修、日刊工業新聞社、2006.12

『フィッシャーマン 漁り人の伝説』ジョン・ランガン/著、新紀元社、2022.1

福島県立図書館 新サービスの紹介

令和8年1月8日、当館システムの更新に伴い、以下のサービスを新たに導入しました。

1. デジタルアーカイブの開設

デジタルアーカイブ「福島県立図書館デジタルライブラリー」を開設し、当館がこれまでにデジタル化してきた資料をインターネット上でご覧いただくことができるようになりました。



- ・ご自宅等のインターネット端末で見ることができます。
- ・古文書、地図、絵図、写真、地誌、行政資料、佐藤文庫（戦争関係資料）等の資料を公開しています。
- ・①キーワード検索、②資料別検索、③市町村別検索、④スペシャルコンテンツをご用意しています。
- ・市町村別検索では、当該デジタルライブラリー掲載の資料を地域別・市町村別で検索することができます。また、スペシャルコンテンツの「地図から探す昔の写真」では、『福島県写真帖』（1908年刊）の写真を撮影地から見ることができます。
- ・画像の利用については利用規定をご参照ください。

●アクセス方法

「福島県立図書館デジタルライブラリー」と検索していただくか、当館ウェブサイトの「ピックアップメニュー」→「デジタルアーカイブ」からご覧ください。



※デジタルライブラリーの操作方法については、当館発行『福島県郷土資料情報 No.66 2026年3月』（特集 福島県立図書館ホームページリニューアル）もご覧ください。
(当館ウェブサイト「図書館刊行物」でも公開しています)

2. セルフ貸出機の設置

貸出・登録カウンター付近と「こどものへや」に1台ずつセルフ貸出機を設置しました。

利用カードと借りたい本のバーコードを読み込むだけで、カウンターへ並ぶことなく、ご自身で貸出手続きができます。



3. 座席管理システムの導入

館内にある予約機から、図書館資料の閲覧を目的とする「資料閲覧席」（1回3時間まで、延長可）、学習等にご利用いただける「学習席」（最大3時間）、インターネットを利用できる「インターネット席」（最大2時間）の利用申し込みができるようになりました。予約機の画面で空席状況を確認できるため、席を探して館内を歩き回る必要がありません。

予約機で当館利用カードのバーコードを読み取り、ご利用になりたい席と利用時間を選択し、ご利用ください。利用カードをお持ちでない方は、当日のみ利用できるカードを発行して申し込むことも可能ですので、貸出・登録カウンターでお尋ねください。

なお、ソファ席や新聞閲覧席等は、予約無しでご利用いただけます。



4. ウェブからの「仮登録申請」が可能に

当館ウェブサイトから新規利用者登録の仮登録申請が可能になりました。仮登録申請を行うと、カウンターでの利用カード発行が非常にスムーズです。(館内の蔵書検索機からも仮登録申請可)

来館前に当館ウェブサイトアクセスし、メールアドレスを入力すると、仮登録申請のURLが登録したメールアドレスに送信されるので、必須事項を入力して仮登録を行うことができます。

仮登録の有効期限は1か月です。期限内に来館して本登録を行ってください。その際、「仮登録申請番号」と「本人の氏名・住所が確認できる公共機関発行の証明書」(運転免許証・マイナンバーカード・資格確認書・学生証など)をご提示ください。

仮登録申請は
こちらから行えます



“ ウェブサイト&横断検索がリニューアル ”



当館システム更新に伴い、ウェブサイトもデザインや構成を一新し、より使いやすく生まれ変わりました。

また、県内の市町村図書館・大学図書館・専門図書館の蔵書をまとめて検索できる「県内図書館横断検索」もリニューアル。一部の資料は書影が表示できるようになりました。



受取館指定サービスの受取館が増えました！

令和8年1月8日より、当館予約資料の「受取館指定サービス」の受取館として、新たに以下の図書館が加わりました。

- いわき市立(総合/小名浜/勿来/常磐/内郷/四倉)図書館
- 白河市立(表郷/大信/東)図書館
- 南相馬市立(小高/鹿島)図書館

当館ウェブサイトから資料を予約するだけで、上記いずれの図書館でも当館の資料を受取・返却することができます。(当館の利用登録・インターネットサービス登録が必要です)

詳しくは、当館ウェブサイト「遠方にお住まいの方へ」→「受取館指定サービス」をご覧ください。



活字の本が読みづらい方のための本があります

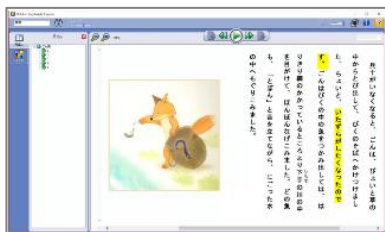
バリアフリー資料のご案内

「文字が見えない・見えづらい」「本が持てない」「文字・文章の理解が難しい」

そんな理由で読書を諦めている方はいませんか？ 活字の本が読みづらい方のために様々なバリアフリー資料が作成されています。バリアフリー資料を活用いただき、読書の世界をお楽しみください。

🔊 聞いて読む本

「サピエ図書館」からインターネットを通して 10 万タイトル以上の「聞いて読む本」にアクセスできます。※サピエ図書館とは：目で文字を読むことが困難な方に対して点字や音声データなどを提供するネットワーク。



「マルチメディアデジー」

音声の読み上げに合わせて、読んでいる部分の文字がハイライトする電子書籍です。ディスレクシア（識字障がい）がある方など、様々な人にとって読みやすくなっています。

◀ 日本リハビリテーション協会ホームページより



「録音図書」

活字の本の内容を、声で読んでデータや CD にしたものです。専用の機械やソフト・アプリを使うことで、活字の本と同じようにページ送りなどができます。



わかりやすい本 「LL ブック」



図や写真を使ってわかりやすく書いた本です。

内容は子育て、恋愛、旅行など、大人向けのものとなっています。

◀ 『子育てしながらはたらく』 里見喜久夫・平松郁/著、小俣裕人/イラスト、埼玉福祉会



大きな活字の本 「大活字本」

文字サイズを 16 ポイント以上に拡大した本です。当館では小説を中心に 2,000 冊をこえる所蔵があります。



触って読む本 「点字図書」・「点字絵本」

点字で書かれた本や絵本です。当館では県内で発行された広報誌の点字版や、点字つきの触る絵本、子ども向け点字雑誌『テルミ』を中心に所蔵しています。

詳しいご利用方法は、当館ウェブサイト「障がいのある方へのサービス」をご覧ください。



福島県地域資料 寄贈のお願い

福島県立図書館では、郷土の過去・現在を未来へ伝える資料として、福島県に関する資料や福島県にゆかりのある方の著作物を収集・保存し、県内外の方にご利用いただいています。

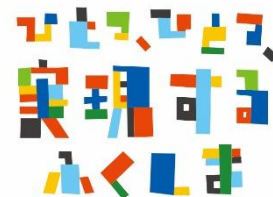
地域資料とは次のような資料です。

- ・福島県や県内各地域に関する資料（歴史、民俗、地誌など）
- ・福島県内企業・団体・行政機関等の発行した資料
- ・福島県内に在住する方、または福島県出身の方の著作
- ・福島県にゆかりのある方の伝記

※ 図書だけでなく、フリーペーパー、雑誌、地図、パンフレット、CD、DVD などにも収集しています。

※ 東日本大震災に関する資料は特に重点的に収集しています。

上記のような資料を刊行された際は、当館へ **2 部**（保存・貸出用）ご寄贈いただけるとたいへん嬉しく思います。また、地域資料の蔵書を処分される際にも、ご一報ください。



図書寄贈の記録

以下の団体をはじめ、多くの方々から図書のご寄贈をいただきありがとうございました。

寄贈いただいた資料は、当館の活動を通じて広く県民の皆様の利用に供してまいります。

県民のくらし応援文庫

- 福島発電株式会社 様 105 冊(20 万円相当) [令和 7 年 8 月 27 日]
- 一般財団法人ふくしま未来研究会 様 255 冊(50 万円相当) [令和 8 年 1 月 16 日]
- 大槻電設工業株式会社 様 463 冊(80 万円相当) [令和 8 年 1 月 21 日]
- 福島ヤクルト販売株式会社 様 28 冊(5 万円相当) [令和 8 年 2 月 19 日]

その他の寄贈

- 国際ゾント福島ゾントクラブ 様 31 冊(5 万円相当) [令和 8 年 2 月 10 日]
- 国際ソロプチミスト福島 様 43 冊(10 万円相当) [令和 8 年 2 月 12 日]
- 日産自動車株式会社 様 124 冊(県立・市町村図書館、公民館分) [令和 8 年 3 月 12 日]

○県民のくらし応援文庫へのご寄贈のお願い○

「県民のくらし応援文庫」は、県民の皆様のくらしや地域づくりを応援するため、「育児活動支援」「健康長寿支援」「まちづくり支援」「防災活動支援」の 4 テーマで図書をご寄贈いただく制度です。

ご寄贈図書への記名などの制度もありますので、ぜひ多くの皆様のご賛同とご協力をお願いします。



『福島県立図書館報あづま』 第 75 巻（通巻 279 号）

令和 8 年 7 月 30 日 発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島県福島市森合字西養山 1 番地

電話 024-535-3218(代表) URL <https://www.library.fcs.ed.jp/>